



(写真右)国道1号沿いの小川の辺にある蟹塚。(同左上)旧東海道の“蟹が坂”にある蟹坂古戦場跡の碑。(同左下)海道橋を渡ると田村神社の境内だ。

東海道五十三次の49番目の宿場町・土山の名物菓子に“かにが坂飴”がある。土山宿から鈴鹿峠に向かう道はかつて“蟹が坂”と呼ばれ、この地の大蟹退治の伝承に由来するものだ。

その昔、鈴鹿山の麓に大きな蟹が棲みつき、街道を往来する旅人や村人を苦しめていた。ある日、観音様の命をうけた都の高僧が大蟹にお経を唱えると、蟹はこれまでの悪行を悔い、甲羅が八つに裂けて溶けてしまったという。

この割れた甲羅を埋めて葬ったところに現在ある。うつ1号の脇道に入った山中の谷川を渡ったところにある。うつとした樹木に囲まれて、小さな石塔がひっそりとたたずんでいる。

蟹が坂

伝説と歴史の舞台を歩く

DATA 甲賀市

- 歩行距離▶約4.5km
- 歩行時間▶約1時間30分

“かにが坂飴”は17世紀中頃に書かれた浅井了意の『東海道名所記』にも記されている。麦芽糖を原料に昔ながらの製法で作られ、形は平たい丸型、蟹の甲羅を模している。大蟹退治の由来から厄除けの効があるとか。素朴な甘みが旅人の疲れを癒やしてくれたのだろう。



モデルコース
かにが坂バス停 10分 蟹塚 15分 蟹坂古戦場跡
かにが坂バス停 10分 道の駅あいの土山 30分 東
15分 田村神社 3分 近江土山バス停
※JR貴生川駅からかにが坂までコミュニティバス「あいぐるバス」で約40分(田村神社で下車した場合、蟹塚まで徒歩約30分)
※国道1号の横断は、かにが坂交差点の横断歩道、田村神社の立体歩道橋を利用する。
※移動時間はあくまでも目安です。

バックナンバーをKEIBUNホームページ
「湖国滋賀ウォーキングマップ」で公開中！

<http://www.keibun.co.jp>

ここから“蟹が坂”を下って田村川に架かる海道橋を越えると田村神社の境内である。この神社に祀られる坂上田村麻呂も鈴鹿峠の鬼を退治した伝説で有名だ。難所で知られる険しい鈴鹿峠は旅人をねらう盗賊も多く、この種の逸話がたくさん残されているのだろう。

田村神社の参道の前には“かにが坂飴”的製造元の店があり、道の駅“あいの土山”でも購入できる。
田村神社を参拝した後は飴でもなめながら、往時の風情を残す旧東海道の土山宿をゆっくりと散策。旧土山本陣や東海道伝馬館などを訪ねてみよう。

“Walk on”とは

「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の意味があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな“近江”という舞台を、登場人物のひとりになった気分で歩いてみてはいかがでしょう。

